

1. 団体概要

2. 方法

3. 結果

ふりかえり評価プロセスシート

NPO法人福岡ジョブサポート
公開：2021年3月31日

団体名	福岡ジョブサポート
設立年	2006年10月
所在地 *市区町村までで 結構です	福岡市東区馬出
活動地域	福岡市とその近隣地域
スタッフ数	有給常勤職員 : 22名 有給非常勤職員 : 5名 役員 : 4名 ボランティア : 0名
事業概要 *簡単で結構です	障がいのある方の就労支援（福祉サービス：就労移行支援事業／就労定着支援事業／就労継続支援B型事業／生活訓練事業／計画相談事業）



テーマ *ふりかえりの対象や期間、観点であり、目的ではありません	団体設立から20年間の歴史
使用手法	年表
実施日時	2021年2月8日（月）16:00～18:00
実施場所	オンライン
参加者数・属性など ※具体的に記入してください	職員7名（代表・理事・各事業所代表・総務）
事前に準備した資料等	<ul style="list-style-type: none"> 当日参加できない副理事長へ、事前ヒアリングを行った 参加者全員が、団体パンフに掲載されている年表（あゆみ）を見て、印象深い出来事3つに丸をつけた



○ 沿革

○ 福岡ジョブサポートのあゆみ

1997	福岡ジョブサポート研究会を立ち上げる
1998	障がいのある方への就労に関するアンケート調査（1,300人回答）
1999	福岡市東区馬出に 障がい者のはたらく拠点 ジョブサポート を開設
2000	旅行代理店J&S旅行センター を開業 「トライアル雇用に関する講演会」を開催
2001	福岡市障害者就労施策検討委員会で意見発表 「トライアル雇用に関する講演会」を開催
2002	障がい者のはたらく拠点 ジョブサポート郷口 を開設（障がい者のはたらく拠点 ジョブサポート は 障がい者のはたらく拠点 ジョブサポート馬出 に事業所名変更）

必須チェックリスト

○

参加性

役員や職員だけでなく、会員・受益者・支援者など多様な属性が参加した。
*モニター実施時は必須ではありません

○

水平性

立場や役職と意見の重要度を切り離すフラットな場づくりのため、第三者的なファシリテーターを配置した。

○

多様性

ホワイトボードや付箋などを活用して、ステークホルダーの多様な意見や価値判断を、可視化して共有し、違いを顕在化させた。

○

包摂性

事後アンケートを提出した人の中で「自分の気持ちや意見が全く受け止められていなかった・声が聞き入れられていなかった」と答える人がいなかった。

○

公開性

組織の透明性や説明責任の向上のため、本レポートをWeb上で公開した

○

参加者コメント

*事後アンケートから転記してください

- ・長く一緒に仕事をしていたはずなのに、その時々のおもいや考えを知らないままで、「きっと、私の思いは分かってもらって応じてくれている」「伝わっている」と上から目線だったと、言葉にすることの大事さを今更に知りました。
- ・若い人の事象の受け取りの素直さや発想の違いを知りました。コミュニケーションの大事さを頭ではわかっている、実際に一つのことについて短い時間でも会話を交わせることの新鮮さを感じました。「最初の一步」の機会に感謝いたします。
- ・自分の話したことが、ただの「後出しの非難」になっていないか気になってしまいました。
- ・リモートでの実施だったため、空気の共有ができず難しさがありました。対面の場合は、手を動かしたり年表を見ながら話すなどで、視線もぶつかり合わず、もう少しリラックスできたのかもと思いました。
- ・普段のコミュニケーション不足を感じました。思ったことを率直に口に出せる場面を作らないといけないと思いました。
- ・共通の出来事でも、各自での受け止め方が多様であることが改めて分かりました。価値観は様々と分かっている、自分なりに感じていたことと本人が言葉にして表現したこととの間に意外な差（違い）があり、「そう思っていたのか〜」と新たな気づきを得られました。
- ・他者の気持ちや意見は、ちゃんと言葉で確認していく必要を感じました。

総括
所感

【記入者（役職・氏名）：部長 小園 真起子】
はじめにふりかえる事柄から皆で意見を出し合うことで、それぞれが多様な視点や考えを持っていたことに改めて気づくことができました。進行に第三者が入ることによってさらに意見が出しやすくなったり、意外な角度からの質問について考える貴重な機会が得られました。